

# 採点基準

## 共通原則

### 1 解答欄と解答記入について

- (1) 解答欄内に記入された解答だけを採点の対象とする。
- (2) 解答欄外にはみ出しているもの、解答欄外に書いてあるもの、解答欄をまちがえているものなどは不可とする。

### 2 記号等で解答する問題について

- (1) 記号、符号、番号等で解答する問題の場合、○や( )などの有無は可とする。①→1、(A)→A など ○
- (2) 英字の大文字の記号を小文字で解答しているもの、カタカナの記号をひらがなで解答しているものなどは不可とする。ただし、英字の書体の違いは可とする。
- (3) 複数の記号を選択して解答する問題の場合、指定以外の数の記号を書いているものは不可とする。
- (4) 記号ではなく、選択肢の内容で解答しているものは不可とする。また、記号と選択肢の内容を併記しているものも不可とする。

### 3 語句、用語で解答する問題について

- (1) 設問に特別の指定がない限り、漢字、ひらがな、カタカナ及びその混用のいずれも可とする。
- (2) 表記に誤りがあるものは不可とする。
- (3) 適語補充の問題で前後の語句と重複するものは不可とする。
- (4) 漢字とそのよみがなが併記してある場合、どちらかに明らかな誤りがあるものは不可とする。

### 4 文章で解答する問題について

- (1) 設問で求めているポイントをおさえていて、明らかな誤りがないものは、表現上の巧拙は問わない。
- (2) 文章中の誤字は、文章全体の意味を大きく損なっていないければ、一字まで許容または減点とする。ただし指定された語句の許容はしない。

### 5 選択問題について

- (1) 生徒が記入またはマークした選択記号にもとづいて採点する。
- (2) 記入された選択記号と生徒の解答が矛盾する場合、選択記号を優先して採点する。
- (3) 選択記号の記入やマークがなく、選択問題が不明の場合は、解答の記入があっても採点しない。

## 国語

### 1 漢字の書き取り・読み

- (1) 画数が正しいこと…点が欠けているものや、横画の多い少ないなど、全体の画数が異なるものは不可。

(2) 形が正しいこと…偏や旁など、文字を形作る部分の形が正しく、大きさのバランスがとれていること。

(3) 画数が正しく、形が同じものであれば正解とする。

(4) 略字やくずした漢字は不可。

### 2 本文中より抜き出す解答

- (1) 誤字・脱字・その他本文と異なる部分があるものは不可。ただし、誤字については、書き取り問題のような厳密さは求めない。

### 3 記述解答

- (1) 解答例と同趣旨であれば可。文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上 ×

### 4 作文採点について

「字数による条件」と「内容(指定条件など形式的なもの)での条件」によって基礎得点を決定し、そこから文脈・展開・構成・記述の誤りなどによって減点を行う。(採点基準については、各回の解説をご参照ください。また、採点基準は(株)大阪進研独自のものです。)

※誤字については、書き取り問題のような厳密さは求めない。

## 数学

### 1 数や式の表記の原則

- (1) 分数、小数いずれでも表せる場合は、どちらも可。
- (2) 分数は、帯分数( $1\frac{2}{3}$ )・仮分数( $\frac{5}{3}$ )のいずれも可。ただし、約分を既習した学年では約分していないもの( $\frac{10}{6}$ )は ×
- (3) 数式の項の順序、項の中の文字の順序は問わない。

$$\cdot x^2+2x+1 \rightarrow 1+2x+x^2 \quad \bigcirc$$

$$\cdot 3ax^2 \rightarrow 3x^2a \quad \bigcirc$$

ただし、係数が前にないものは不可。3a → a3 ×

(4) 正の数の+の符号は、あってもなくても可。

$$\cdot 1 \rightarrow +1, +1 \rightarrow 1 \quad \text{いずれも } \bigcirc$$

- (5) 解答欄内の式及び計算過程の記入は ×  
(=イコールつき,  $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$ ,  $\frac{10}{6}, \frac{5}{3}$  など)

### 2 証明問題

- (1) 内容が同趣旨であれば可。
- (2) 辺や角などの表現について  
△ABC ・ △CBA, ∠ABC ・ ∠CBA, 辺AB ・ 辺BA などいずれの表現でも可。

### 3 作図問題

- (1) 作図の過程が読み取れるものであること。  
コンパスの線など作図の過程が示されていないものは不可。
- (2) 作図の過程が論理的に正しいこと。

## 英語

### 1 アルファベットの表記について

- (1) 大文字・小文字の誤りは不可。
- (2) スペルミスは不可。
- (3) アポストロフィがないものは不可。

・ isn't → isnt × Nancy's pen → Nancys pen ×

(4) 1語を2語に分けて書いているもの、2語を1語にまとめて書いているものは不可。

・ notebook → note book × ・ every day → everyday ×

### 2 英作文について

- (1) 大文字・小文字の誤りは不可。
- (2) スペルミスは不可。(ただし、i・jの点の欠けは許容する。)
- (3) ピリオド「.」、[,]、「?」などの過不足は、1か所に限り許容または減点対象とする。
- (4) 条件付きの英作文で、語数指定や使用語句の指定など、条件を満たしていないものは不可。

### 3 適語(英単語)補充について

- (1) 代名詞を固有名詞で答えているものは場合により許容。  
・ Yes, he is. → Yes, Bob is. など ○

### 4 数字の記述

- (1) 綴り指定の場合は算用数字は不可。指定がなければ算用数字でも可。

## 社会

### 1 用語記述問題…共通原則を参照。

- (1) 特殊な読みの用語(熟字訓)のかな混じり書きについて  
・ 「飛鳥(あすか)」「大和(やまと)」→全部漢字、全部ひらがなのみ ○

(2) 国名・地名について

① 通常の表記と異なる漢字を使っているもの、誤字を含むものは不可。

・ アメリカ合衆国 → アメリカ ○、アメリカ合州国 ×

・ ロシア連邦 → ロシア ○、ロシア連法 ×

② 国名を通称で解答した場合は原則として○

・ アメリカ合衆国 → 米国、イギリス → 英国 など ○

ただし、「米」「英」などは ×。

(3) 誤字については、漢字の書き取り問題のような厳密さは求めない。

### 2 記述問題

- (1) 模範解答と同趣旨であれば可。
- (2) 設問の指示に従って書かれていること。

書き出しや使用を指定した語句など、条件を満たしていないものは不可。文字数を指定している場合、オーバーしたもののや著しく少ない解答は不可とする。

(3) 文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上 ×

## 理科

### 1 数値や化学式での解答

- (1) 数値での解答  
① 小数あるいは分数となる場合は、いずれでも可。分数の場合、帯分数・仮分数を問わないが、約分していないものは不可。また、有効数字にはこだわらない。  
・ 0.50 → 0.5 など ○

② 答えの単位を変えて答えているものは不可。

・ 0.5km → 500m など ×

(2) 化学式・化学反応式・単位

① 化学式のアルファベットの大文字・小文字の誤りは不可。

・ HCl → HCL、HeI など ×

② 化学式や単位の数字の位置の誤りは不可。

・ H<sub>2</sub> → H<sup>2</sup>、cm<sup>3</sup> → cm<sub>3</sub> など ×

③ 化学反応式の各項の順序は問わない。

・ 2H<sub>2</sub>+O<sub>2</sub>、O<sub>2</sub>+2H<sub>2</sub> など、いずれも ○

### 2 用語記述問題…共通原則を参照。

- (1) 物質名を答える問題は、化学式での解答は ×
- (2) 誤字については、漢字の書き取り問題のような厳密さは求めない。

### 3 記述問題

- (1) 模範解答と同趣旨であれば可。
- (2) 設問の指示に従って書かれていること。  
文字数、書き出しや使用を指定した語句など、条件を満たしていないものは不可。

(3) 文章全体の意味を大きく損なわない誤字や、送りがなの誤りなど部分的なミスは、一字まで許容する。二字以上 ×

※弊社の採点は上記のような基準を原則としていますが、出題内容によっては原則と異なる採点基準になる場合があります。